

静岡県と 南海トラフ 巨大地震

MEMO

「東海地震」とも呼ばれているこの地震、最近では100～150年の間隔で発生しているが、静岡県では1852年の巨大地震以降発生していない。つまり、2019年現在、167年間も発生していないのだ。

- Q.地震の規模は？
A.マグニチュード9程度
- Q.どの地域で起こる？
A.東海・近畿・四国・九州南
- Q.震度と津波はどれくらい？
A.最大震度7・津波33m

この地震による
静岡県内の予想死者数は
10万人を超える

静岡県の現状

学校・幼稚園施設の耐震化率 99.3% (2015年)

総合防災訓練の県民参加率 35.3% (2014年)

木造住宅耐震補強工事への助成数 18576戸 (2014年)

全国 1位

他にも
・防災拠点となる公共施設の耐震化率
・東海地震に対する津波対策施設の整備
が**全国2位**の水準となっている



↑静岡市駿河区用宗にある津波避難タワー。このエリアでは最大12mの津波が予想されている。

津波

津波避難タワー

津波対策の代表的なものとして、津波避難タワーが挙げられる。津波が襲来するエリアの各地に建てられていて、予想される津波の最大高に合わせてそれよりも**高く**、**頑丈**に作られている。また、高齢者でも楽に上がれるように階段が低くなっている。ここにも防災への意識の高さが見られる。

また・・・沿岸部では**防潮堤の強化**や**水門での津波対策**が進められている

家庭への呼びかけ

- ・スキマ材・突っ張り棒・L字金具などでの家具の固定
- ・飛散防止フィルムでのガラス対策
- ・非常食・水・懐中電灯などの備蓄品の用意

